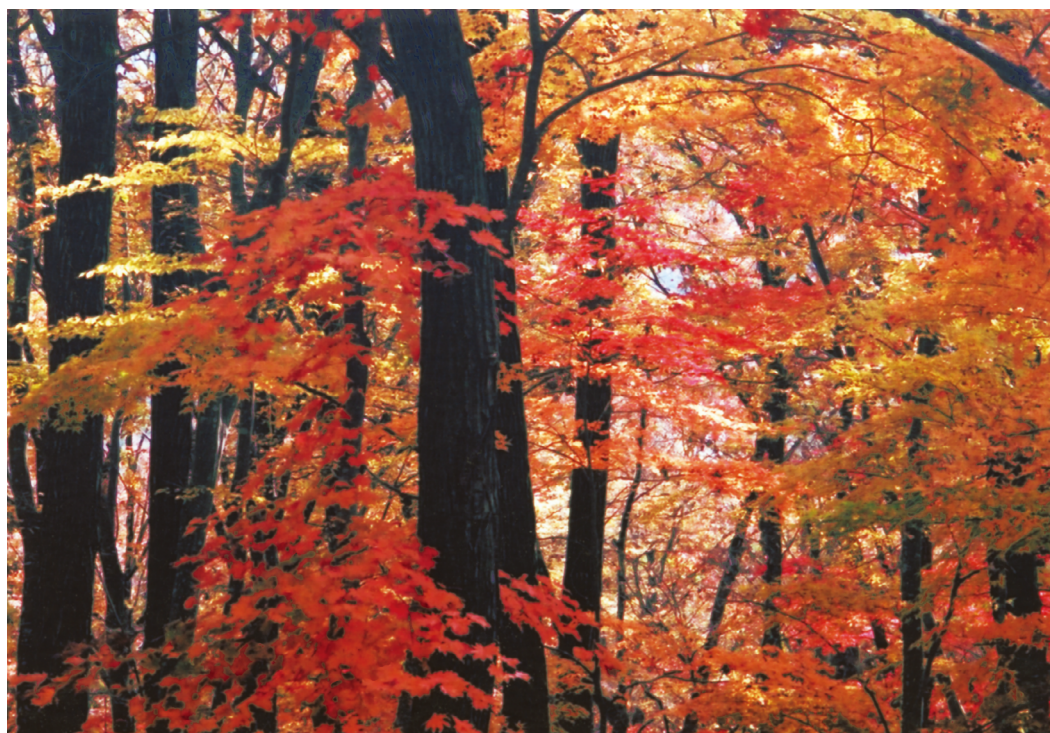


左 東 医 報

2024—11

LIX—7 (703)



『 東 北 の 秋 』

修学院第二班 藤 田 宗 先生



目 次

2024年11月号（703号） 題字 平 澤 興 先生

表紙写真・文章	修学院第二班 藤 田 宗	1
理 事 会 記 録		3
令和 6 年秋京都府医師会懇親ゴルフ大会報告		
「一以貫之」	松 岡 秀 樹	10
左京医師会 講演会等の予定		19
追 悼		
故 越智京子先生		
越智京子先生追悼文	八 田 一 郎	20
随 筆		
「疏水の水音でフィナーレを迎えた幕末維新の京都交響曲」		
第十三話「京都帝国大学に続いて立命館大学が開設され		
学生の街・京都となった」（その 2）		
	山 下 敬 司	21
「七仏七界」 西国四十九薬師霊場巡りの旅		
その四 後編「瑠界」	松 下 匡 孝	30
編 集 後 記	兵 庫 美砂子	33

左京医報 表紙募集!!

会員の皆様の写真や絵画などを募集しています。
左京医師会事務局までご連絡ください。

表紙のこぼ

『 東 北 の 秋 』

修学院第二班 藤 田 宗

東北の秋は駆け足で、過ぎて行く。季候が秋めいてきたと思ったら、すぐ紅葉が始まる。麓から色づき始めたと思っていたら、あっという間に全山、紅葉となってしまう。それも黄色から金、薄紅、紅、赤、紫と目に鮮やかな彩りを織り交ぜて見せてくれる。東北大震災以来、幾度も当地を訪れている我々であるが、震災の傷跡があまりにもひどく、街並みが消え去り、復興の名のもとに土地、道路が全く異なった眺めになってしまっているのを目の当たりにしてきた。しかし、大自然はそれぞれ、残ったものが季節を表し、その美しい景観を見せてくれている。この写真は野口英世記念館のまわりの景色であるが、落ち着いた色合いのものとなり、我々の心を和ませしてくれる。

一般社団法人左京医師会令和6年度第11回定例理事会

日 時：令和6年9月27日（金）

場 所：国立京都国際会館

出席者：塩見・松下・十倉・藤田・三嶋・赤木・西村・細谷・山下・原山・佐藤・早野

久保田・児玉・兵庫・松本・松木・八田・市田・伊地智監事・米田監事

議事録署名人：塩見会長・米田監事

I. 報 告

1. 会長報告

- 1) 9月14日（土） 地区医師会長と保険医協会との懇談会（ハイブリッド開催）
於：京都府保険医協会
- 2) 9月19日（木） 京都府医師連盟地区代表者会
於：京都府医師会館
- 3) 9月25日（水） 京都市左京区社会福祉協議会 令和6年度第2回理事会
於：左京区役所
- 4) 9月26日（木） 令和6年度第2回左京区地域福祉推進委員会
於：左京合同福祉センター
- 5) その他
来訪、会合、他
- 1) 10月1日（火） 京都市域地域医療構想調整会議（合同ブロック会議）（Web開催）
15時
- 2) 10月29日（火） 令和6年度左京区地域保健推進協議会
14時
於：左京区役所
- 3) 11月30日（土） 左京三師会 16時15分 於：京都ブライトンホテル
- 4) 12月1日（日） 2024年度（第6回）京大病院地域連携の集い
15時
於：芝蘭会館
- 5) その他

2. 庶 務

- 1) 9月25日（水） 第5回地区庶務担当理事連絡協議会（ハイブリッド開催）
於：京都府医師会館
- 2) 10月19日（土） 2024年度第1回コミュニケーション委員会（ハイブリッド開催）
佐藤尚志先生 14時30分 於：京都府保険医協会
- 3) 11月30日（土） 左京三師会 16時15分 於：京都ブライトンホテル
- 4) その他

3. 地域医療

- 1) 9月13日(金) 地区特定健診等担当理事連絡協議会(ハイブリッド開催)
細谷泰久先生 於：京都府医師会館
- 2) 9月20日(金) 認知症部会(ハイブリッド開催)
出席；14名 於：国立京都国際会館
- 3) 9月20日(金) 在宅医療部会(ハイブリッド開催)
出席；6名 於：国立京都国際会館
- 4) 9月28日(土) 大原地域包括支援センターとの交流会
15時 於：左京区役所
- 5) 10月3日(木) 京都市域地域医療構想調整会議(全体会議)(Web開催)
塩見聡史先生、松下匡孝先生、原山拓也先生
16時
- 6) 10月3日(木) 左京健康講座2024(1日目) 於：左京区役所
ミニ講和、測定会
①10時～ ②13時30分～ ③15時～
- 7) 10月8日(火) 左京健康講座2024(2日目)
「骨粗しょう症を予防して、コツコツ健康寿命を延ばそう」
京都府医師会 健康日本21対策委員会副委員長
京都府立医科大学臨床教授 劉 和輝先生
13時30分 於：左京区役所
- 8) 10月19日(土) 第33回左京医師会認知症研究会
「抗A β 抗体薬の登場によるAD診療Update」
京都大学人間健康科学系在宅医療・認知症学分野
教授 木下彩栄先生
14時30分 於：ウェスティン都ホテル京都
- 9) 10月21日(月) 左京区事業者連絡協議会研修会
「高齢者のきこえを支える」
兵庫美砂子先生 14時30分 於：左京区役所
- 10) 11月4日(月・振休) 左京区民ふれあいまつり2024
午前 青木信裕先生、八田 告先生
(塩見聡史先生、松下匡孝先生)
午後 細谷泰久先生、松本早苗先生
(塩見聡史先生、松下匡孝先生)
10時～15時 於：左京区役所
- 11) 11月17日(日) 令和6年度「歯のひろば」
原山拓也先生 11時～14時 於：左京区役所
- 12) 京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター

13) その他

4. 情報広報

- 1) 10月7日(月) 情報広報委員会(Web開催)
- 2) 医報
- 3) その他

5. 学 術

- 1) 9月21日(土) 「乳幼児難聴の早期発見から難聴高齢者の認知症対策まで」
京都大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
講師 山崎博司先生
出席;24名 於:ウェスティン都ホテル京都
- 2) 10月19日(土) 「呼吸器臨床症候・病歴から考える実地診療」
京都大学呼吸器内科 講師 佐藤篤靖先生
16時 於:ウェスティン都ホテル京都
- 3) 11月16日(土) 「コモンな皮膚疾患の診断と治療」
京都府立医科大学北部キャンパス長 加藤則人先生
14時30分 於:青蓮会館

6. 社 保

7. 福 祉

- 1) 9月14日(土) 緑寿会
出席;17名 於:竹茂楼
- 2) 9月23日(月・振休) 令和6年度京都府医師会懇親ゴルフ大会
10名参加 於:亀岡カントリークラブ

8. 税 務

9. 会 計

10. そ の 他

II. 議 事

- 1) 林医院(修学院第二班・A・林 仁薫先生)診療時間変更届について ⇒承認
- 2) 平 憲二先生(上高野班・宝ヶ池リハビリテーションクリニック)
入会申込書・新規開設申込書について

班回覧 第三錦林班、第四錦林班、北白川1班、北白川2班、養徳班、
養正1班、養正2班、葵1班、葵2班、松ヶ崎班、修学院第二班、
岩倉南班、別班 意見なし。

新洞錦林班、下鴨班、修学院第一班、上高野班、明徳班 意見あり。

⇒継続審議

3) 10/11 第12回定例理事会会場（国際会館使用不可）について

⇒承認

4) 京都府医師会創立77周年記念式典への出席者について

記念式典・講演 10時30分～12時 出席 or 欠席

祝賀会 12時10分～14時10分 出席 or 欠席

⇒承認

5) その他

次回理事会：10月11日（金）

文責：松木、佐藤

個別相談の受付

一般社団法人左京医師会では、大谷会計事務所のご厚意により、税務・経営・資金等に関する無料個別相談を開催しています。公認会計士、税理士が1回30分程度でご相談に応じますので、希望される会員は事務局までお申し出ください。相談曜日は、第2月曜日14時から16時までとなります。

ただし、相談内容に関して左京医師会は一切関与しませんので会員の自己責任でお願いいたします。

一般社団法人左京医師会

一般社団法人左京医師会令和6年度第12回定例理事会

日 時：令和6年10月11日（金）

場 所：国立京都国際会館

出席者：塩見・松下・十倉・藤田・三嶋（Web 参加）・赤木（Web 参加）

西村（Web 参加）・細谷・山下・青木（Web 参加）・原山（Web 参加）

佐藤（Web 参加）・早野・久保田・児玉（Web 参加）・兵庫（Web 参加）・松本

松木・八田・市田（Web 参加）・伊地智監事（Web 参加）

米田監事（Web 参加）

I. 報 告

1. 会長報告

1) 10月1日（火）京都市域地域医療構想調整会議（合同ブロック会議）（Web 開催）

2) その他

来訪、会合、他

1) 10月11日（金）平 憲二先生（上高野班・宝ヶ池リハビリテーションクリニック）
面談 15時 於：国立京都国際会館

2) 10月29日（火）令和6年度左京区地域保健推進協議会
14時 於：左京区役所

3) 11月3日（日・祝）京都府医師会創立77周年記念式典
10時30分～14時10分 於：リーガロイヤルホテル京都

4) 11月30日（土）左京三師会 16時15分 於：京都ブライトンホテル

5) 12月1日（日）2024年度（第6回）京大病院地域連携の集い
15時 於：芝蘭会館

6) その他

2. 庶 務

1) 10月19日（土）2024年度第1回コミュニケーション委員会（ハイブリッド開催）
佐藤尚志先生 14時30分 於：京都府保険医協会

2) 10月23日（水）第6回地区庶務担当理事連絡協議会（ハイブリッド開催）
14時30分 於：京都府医師会館

3) 11月30日（土）左京三師会 16時15分 於：京都ブライトンホテル

4) その他

3. 地域医療

1) 9月28日（土）大原地域包括支援センターとの交流会

- 出席 医師；5名 包括・介護関係；20名 於：左京区役所
- 2) 9月30日(月) 左京区地域ケア連絡協議会・運営委員会
塩見聡史先生、松下匡孝先生、細谷泰久先生、原山拓也先生
於：左京区役所
- 3) 10月3日(木) 京都市域地域医療構想調整会議(全体会議)(Web開催)
塩見聡史先生、松下匡孝先生、原山拓也先生
- 4) 10月3日(木) 左京健康講座2024(1日目)
ミニ講和、測定会 於：左京区役所
- 5) 10月8日(火) 左京健康講座2024(2日目)
「骨粗しょう症を予防して、コツコツ健康寿命を延ばそう」
京都府医師会 健康日本21対策委員会副委員長
京都府立医科大学臨床教授 劉 和輝先生
出席；2名 於：左京区役所
- 6) 10月9日(水) 左京区事業者連絡協議会代表者会(Web開催)
塩見聡史先生
- 7) 10月10日(木) 令和6年度第1回地区感染症対策担当理事連絡協議会(Web開催)
塩見聡史先生、十倉孝臣先生、細谷泰久先生、原山拓也先生
- 8) 10月19日(土) 第33回左京医師会認知症研究会
「抗A β 抗体薬の登場によるAD診療 Update」
京都大学人間健康科学系在宅医療・認知症学分野
教授 木下彩栄先生
14時30分 於：ウェスティン都ホテル京都
- 9) 10月21日(月) 左京区事業者連絡協議会研修会(Web開催)
「高齢者のきこえを支える」
兵庫美砂子先生 14時30分
- 10) 11月4日(月・振休) 左京区民ふれあいまつり2024
午前 青木信裕先生、八田 告先生
(塩見聡史先生、松下匡孝先生)
午後 細谷泰久先生、松本早苗先生
(塩見聡史先生、松下匡孝先生)
10時～15時 於：左京区役所
- 11) 11月17日(日) 令和6年度「歯のひろば」
原山拓也先生 11時～14時 於：左京区役所
- 12) 11月23日(土・祝) 第31回左京区民ふれあいウォーキング
9時30分～15時30分 於：宝ヶ池公園
- 13) 京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター
- 14) その他

4. 情報広報

- 1) 10月7日(月) 情報広報委員会(Web開催)
出席; 8名
- 2) 医報
- 3) その他

5. 学術

- 1) 10月19日(土) 「呼吸器臨床症候・病歴から考える実地診療」
京都大学呼吸器内科 講師 佐藤篤靖先生
16時 於: ウェスティン都ホテル京都
- 2) 11月16日(土) 「コモンな皮膚疾患の診断と治療」
京都府立医科大学北部キャンパス長 加藤則人先生
14時30分 於: 青蓮会館

6. 社 保

7. 福 祉

8. 税 務

9. 会 計

10. そ の 他

II. 議 事

- 1) 東道医院(養正1班・東道伸二郎先生)診療時間変更届について ⇒回覧
- 2) くぼた内科・呼吸器内科クリニック(葵1班・久保田豊先生)
医療機関名変更届について ⇒承認
- 3) 第31回左京区民ふれあいウォーキングへの職員派遣について ⇒承認
- 4) 令和6年度後期高齢者に対する重複服薬者への相談指導事業について(協力依頼)
⇒承認
- 5) 左京医師会ホームページの改変について ⇒承認
- 6) 医師会パソコン Windows10保守期限に伴う更新について ⇒承認
- 7) その他

次回理事会: 10月25日(金)

文責: 八田、兎玉

「一以貫之」

—令和6年秋京都府医師会懇親ゴルフ大会報告—

養徳班 松 岡 秀 樹

1. 右膝半月板損傷

7月14、15日に行われた恒例のひーさん会遠征は、赤倉ゴルフコース、上越妙高の森ゴルフコースといずれも名門コースで行われ、私も参加申し込みをしていたが後述の理由で残念ながら参加できなかった。先月号に簡にして要を得る報告を柴田修宏先生がしてくれたのでお読みいただいたことでしょう。

個人的な話が先になって恐縮だが、実は本年6月9日（日）亀岡カントリークラブ（以後亀岡CC）でクラブ所属のシニアプロと私より大分若いメンバー2人とでラウンド。他の3人のティーショットは私より50ヤード先、遅れないようかなりの部分を駆け足で回った。その4日後6月13日（木）に京都ゴルフ倶楽部上賀茂コースで松ヶ崎川村産婦人科医院院長婦人 川村美星さん主催の「二本会」というプライベートコンペあり、プロ棋士九段（さる新聞に詰碁を毎週出題）、着物着付けの先生（神官装束衣装、能装束、時代風俗衣装会社社長夫人）他いろいろな職種の方と楽しく回れるので何とか都合をつけてできるだけ参加させて貰ってる。美星さんにチョコレートをむしり取られるのがちょっと癪。朝から右膝に違和感があったがスイングに影響しているようには感じなかった、しかしやることなすこと全て上手くいかない、アウトは45も打ってしまった。昼からはちょっと頑張って2オーバー36で回って81となりエージシュート達成。ただし、5,527ヤードパー69なので全く非公認。それにしても前半から何でそんなふうに戻れへんねん！それがゴルフ、不思議やねー。

帰宅後車から降りる際右膝に激痛！もう歩けない。壁伝いに歩いてどうにか玄関へ。居室の3階へととても階段では上がれず、エレベーターで。以前医報に記したが1年半前に左膝半月板裂傷した際と同様、松葉杖なしには歩けない。前回は冬季だったので4か月後の5月には復帰し夏のひーさん会遠征も参加出来たが、今回は遠征まで1か月半しかなく、最後のひーさん会だということでは是非参加したいと願ってリハビリに励んだがダメだった。痛みは徐々に軽減やがて消失して通常の歩行は可能となったが、違和感あり恐怖感もあってスイングはとてできない。

2. 団体戦復活

今年度の府医ゴルフは団体戦を復活するとのこと。ただ案内が来た時点ではまだ満足に動ける状態ではなく、ラウンドなんて怖くてとんでもない状態。9月23日当日までに復帰できるかどうか、よしんば復帰できても18ホール回り切れるかどうか、回り切れてもチームに貢献できるようなスコアで回れるかが全く不明で、参加の申し込みをしないでした。前年欠席の山添善博からは本年は団体戦あり自分は出席するが私にも出席しますか、出席できますかとメール。団体戦優勝に選手選考は大いに影響する。キャプテンとして苦勞するところではある。本人はキャプテンではないと言うが、ひーさん会での傑出した実力、従来の府医ゴルフでの実績、所属クラブでのクラブチャンピオン、理事長杯、キャプテン杯など20回に達する優勝実績からは誰が見ても一番の適任者であろう。例年のように選手6人で4人取りなら、スコアに関係のないホタルになっても良いので参加しようと考えていたが、今年は4人選手で4人全員のスコアで決めるという。それでは迷惑をかける可能性も十分あり、Bチームなら参加すると決めた。

3. エージシュート！なんで？どうなってる？

やっと先頃9月5日（木）亀岡CCにてゴールドティーから府医ゴルフの練習ラウンドを兼ねて3カ月ぶり、NRもありと宣言してスタート、思いの他うまくいった43、39、82、エージシュート1打オーバー、まあなんとか膝痛再発せず無事終了「ホッ」。次は9月10日（火）京都ゴルフ倶楽部舟山コースにて70歳以上の洛北高校OBの会「あかね会」コンペ。41、35、76でのエージシュート但しパー66なので全く非公認。15日（日）は亀岡CCの月例、これも38、42、80、またまたのエージシュート。19日（木）には丹羽 勇と亀岡CCで練習ラウンド。何だかよくわからないけど、アウト8番ロングホールなんぞは2オン1パットのイーグルが出て36、インはすべてパーで36、72というとんでもないスコア。どうしちゃったんでしょうかね。怪我をした方がスコアは良くなる？。長いこと休んでクラブを握らなかったのに、怪我はしてみるもんかねー。そんなことはないと思うが。私としては自分の力が信じられずBチームで気楽に回りたいと思っていた。同伴の丹羽が言うには「先生はAチームで出て、府医には連絡しとく」という。たまたまロングホールイーグルが取れてその他もなんでもうまくいっただけで本番はそんなわけにはいかないと思うけどね。でもちょっとは期待。

4. 懇親ゴルフ大会①

大会前日22日は10時30分就寝、1時半に目覚めて眠れず、3時に改めて床に入ったが4時ごろにやっと眠ったような眠らなかったような。地区対抗戦復活で興奮？4時半にアラームをやっとの思いで止めたがまだボーっとしてる。大丈夫かと心配しいい起き上が

り朝食。6時に丹羽 勇が迎えに来てくれて出発。休日でもあり交通渋滞もなく7時にはゆうゆう亀岡CCに到着。ゆっくり支度をしていると、青い顔の山添が昨日から38度台の高熱があってしんどい、今日はダメですと言う。そんな、あんたが頼りやで、少々の体調不良でも彼ならなんとかしてくるだろう。

その後、各地区の先生と挨拶を交わす。3年前の岐阜関カントリークラブでの全国医師ゴルフ大会アンダーハンディでの優勝者松井道宣府医会長とも久しぶり、また優勝をと激励。数年前のKGU（関西ゴルフ連盟）グランドシニアチャンピオン大会の優勝者上京東部の西村幸喜（昭和21年生）は「先生が1番年上で2番目がわしや」とお互いに歳とったと励ましか嘆きかわからん言葉。山科の鈴木 学（昭和24年生）とも久しぶり、体調を崩し暫くラウンドしてなかったと、やはり少し前に日本シニアオープンが琵琶湖カントリー倶楽部で開催された時に、渡辺 司プロの相手が棄権し一人になり急遽鈴木が同伴者として選ばれ同じようにショットをし、同じようにパットもして、見事に同伴者の役目を果たしていたのをTVで見たのはついこの間のよう。船井郡の佐野 求（昭和24年生）、佐野達志親子には「あんたらは何処のコンペでも賞品をかささっていく、実力があるのは認めるけど所謂持ってるんやなー」と。数年来の宿敵右京の四方秀人には左京が勝てるように程々に回っておいてと頼む。更に知り合いのプロゴルファーがドライバーシング時に1年前から腰に電気が走るような痛みがあり、住所も近い四方医院を受診するように勧めたので診てやると依頼した。患者紹介しても手を緩めるように頼んだわけではありません。それとこれとは別物、私なら手抜きはしない。四方も腰痛で長らく悩んでいるが、克服して琵琶湖カントリークラブのチャンピオンになっているのでゴルファーの腰痛には詳しいだろうと思っての紹介。

5. 自民党総裁選挙

例によってゴルフと直接関係ない話で御免なさい。当初人気の高かった小泉進次郎はそのあまりの軽い発言にみんなが呆れて決選投票に進めなかった。河野太郎はマイナンバーカードに続くマイナ保険証その他のIT推進が強引すぎるとして党员票、議員票共に集まらず下位となり、ブービー太郎とまで言われて落選。一回目の選挙では高市早苗が党员票、議員票共に多く、1位で決選投票に進んだ。2位の石破 茂は高市に大きく後れを取っており、世界の女性首相誕生の流れからして高市総裁、首相誕生かと思った。

しかしご存じのごとく石破が逆転で当選した。高市は安倍政治の継承を唱え、右翼かとも思われるほどのあまりの右寄り姿勢が共感を得られなかったともいわれている。しかし党员票、議員票共に石破には及ばないものの半数近くを集めたのは無視できない。「新しい戦前」の影はずっと存している。ワイマール憲法下に台頭し政権を握った「ナチに見習えばいいのだ」と言っていたのけたボルサリーノ帽のあの人は最高顧問なのだ。安倍晋三と言えば旧統一教会とズブズブの関係で、選挙の度に自民党議員が応援されたということがつい先頃明らかになったが、まだシラを切っている当事者も多く今回の選挙でも応援すると

教会関係者は言っている。解散命令請求が出た筈だが。二世信者は誠に気の毒だ、思い余って銃撃事件まで起こしてしまった。テロは決して許されることではないが、あの事件を契機に過去にさかのぼって見直すべき機運が出てきたことは事実だ。

例年のごとく朝日川柳から「靖国に祀られるよりわがやへ」と赤紙で招集された兵士の誰かがそう願っていた。今年の春小田原城、横浜中華街、目黒川の桜並木などを訪ねるツアーに参加。千鳥ヶ淵戦没者墓苑に参拝、最後に靖国神社参拝もコースに入っていたが私はどうしてもバスから足を踏み出せず参拝しなかった。戦場で亡くなられた英霊には申し訳なかったが、戦死とは言うものの指導者の無謀無策によって大部分は餓死であったのが真相だと言う。インパール作戦然り、ガダルカナル島（餓島とも言われる）然り。「生きて虜囚の辱めを受けず」と立派な戦陣訓を垂れた最高指導者東条英機は自ら戦場には赴かず、敗戦後短銃で自殺を図ったがまともに頭部に入てられず、米軍に捕らわれ「虜囚」となった。戦場の兵士やサイパンのバンザイクリフ、沖縄のガマで親がわが子を涙と共に刺し殺したり、軍人から手榴弾を押し付けられ爆死した一般人に死を強要した戦陣訓はなんであったのか。そのA級戦犯東条英機が合祀された年から昭和天皇は参拝されず、平成天皇もお参りにならなかった、また現令和天皇も靖国神社へはお出でにならないのは当たり前である。その靖国神社へ首相となっても高市早苗は参拝するという。対中、対韓だけではなく対米、対英関係においてもうまくいくわけがなく、この点でも票数が減ったのであろうと分析されている。しかし支持するものがあるということ、総務会長の打診をけて、閣外にあり新党結成、あるいは次の総裁を狙っているとも言われているのは不気味である。

総裁選で争点になっていない重要テーマ、原発エネルギー政策。「三グラムすら取り出せずまだ眠る八八〇トンのデブリが」、積年の課題であるデブリの取り出し。八八〇トンに驚き、さらに三グラムに絶望的に驚く。『釣れますか』『釣れませんな』と悠長な」。そのような問題をほったらかして原発再稼働、それどころか新設の試みもあるとか。トイレなきマンションとまで言われ、始末に困る使用済み核燃料を地下300mに10万年間埋めるという計画がなされているが、強固な岩盤を国土とするフィンランドとは条件が違う、どこで地震が起こっても不思議ではない日本では冗談としか思えない馬鹿げた計画だ。また新技術の開発による使用済み核燃料の再利用が可能であるかのような発言もある。石破は当初原発廃止ということだったが、他の諸問題と同様トーンダウンしている。

日米地位協定の見直しをするという話は一般国民にも好評ですが石破だとのことだったが、これも米国にとってもそんな気がないとわかり、歴代米国の意向に逆らった首相は突然病に倒れる、あるいは汚職疑惑が突然出てきて短命に終わったということに思い至ったのかすぐにはっきりとは言わなくなった。裏金議員を公認しない方針もそりゃそうだろう、よく言ったら好感を持たれ、石破でないと駄目という雰囲気になったが、議員票が取れないとわかってすぐに変更。国会開会後は予算委員会で野党からの質問を受けてから解散をするということだったが、これも覆してしまった。新総理選出後の世論調査はご祝儀として支持率が高いのが通常だが、裏金事件のダメージに加えて首相の言動の変節が影響したらしくあまりの腰砕け振りに46～51%とご祝儀袋の薄さに与党内にも不安の声あり。

立憲民主党の野田佳彦はその豹変ぶりを鋭く追及して総選挙で野党が勝つ、立憲が比較第一党になって政権を取ると言うがそんなにうまく行くだろうか、野党協力は全く不調。石破の支持率はあまり高くなくても、自民党政権継続期待43～48%、立憲中心23～29%との調査結果が多い、しかし逆に政権交代してほしいというものが48～62%という調査もある。本報告が医報に掲載される頃には総選挙も終わっている、国会の新勢力図は如何になっていることやら。ところが裏金議員公認に世論が厳しくあまりの不評に、ある程度公認しない、比例代表での復活を認めないとの方針を打ち出す。しかし党内では旧安倍派を中心として、また各選挙区でも極めて不評でどこまで貫けるか不明である。

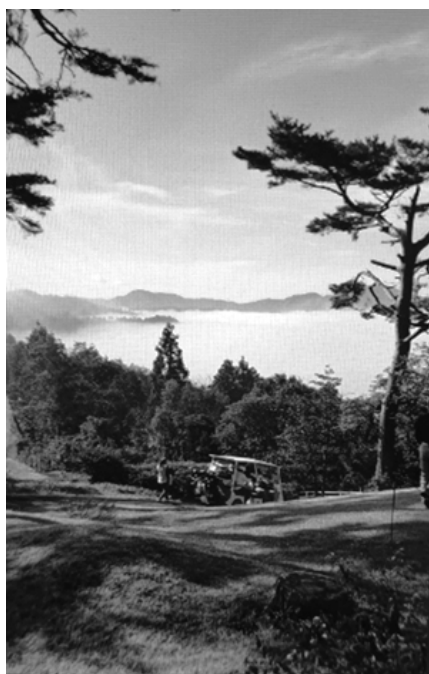
6. マイナ免許証

朝日川柳、「保険証ですら不安が残るのに」今度は「マイナ免許証」だと。マイナ保険証の取扱いは現在直ちにはしたくないと全国のクリニックの医師が思っているのに、日本医師会は推進方向で、京都府医師会からも「マイナ保険証を使いましょう」と言うようなポスター、パンフレットが送られてくる。民主党にすり寄った後、自民党が復権した折に点数改定で酷い目にあったことがトラウマになっていると思われる。自民党政権の言うことはご無理ご尤もで従うという姿勢が露わすぎる。マイナ保険証の利用率の高い医療機関には診療報酬を上乗せする給で釣る政策にしてもまだまだ普及はしていない。本年7月時点で11.13%にとどまっているそうだ。クリニックの医師たちは如何に経営が苦しくともそんな給ぐらいでは言うことを聞かないということが分からないのだろうか。また受診する患者さんが紐付けで個人情報の漏洩や政府に管理されることに対する不安があるということに気が付かなかったんだが、ハンコ廃止令が思いのほかうまくいったことで自分の言うことは何でも通ると勘違いしてしまったのであろう。

「そもそも論」というものがあって、そもそもマイナカードの取得は任意であり、取りたくなければ取らなくても良いとされているものだ。それを国民皆保険となっている健康保険証と結びつけようとするのがかなりの無理がある。河野太郎の拙速ぶりは、あちこちに摩擦を生み総裁選でも惨敗した。それでも官房長官、厚労相、デジタル相は本年12月には従来の紙の保険証は廃止すると頑迷に主張する。ちなみに私はマイナカードを持っていないし、マイナンバーも知らない。マイナカードは30年以上前に住民基本台帳が全くの不評で普及しなかった代わりに考えられたものだが、それも普及しないのに業を煮やして強引にポイント付与し更に保険証と結びつけて保険証は廃止するとし、それでも一般の不安が拭えず、あと2か月に迫っても普及率は前述のとおりである。ハリウッド映画を見ると容疑者を逮捕するとすぐに社会保障番号というものでたちどころに身元が判明する。日本でも警察組織、行政組織、政府は国民一人一人をそういう体制で管理したいのだろう。だからあの手この手で攻めて、総背番号制にしたいようだ。しかしさんざん個人情報の漏洩が表れてきて国民はそのセキュリティを全く信用していない。漏洩の無いようにしっかり管理しますと言われてもとても信用できない。

7. 懇親ゴルフ大会②

府医ゴルフ大会に戻る。私は8:30インスタート、藤本眞次（山科、昭和31年生）、鈴木雄二（伏見、昭和37年生）、それに本ゴルフ大会の運営委員長松木正人（右京、昭和43年生）と同組。皆さん若い、松木に至っては私が大学を卒業した年に生まれていて、長女と一つ違い、ソリヤ歳とるわけだ。松木は以前に70台で回って右京の優勝に大いに貢献したことがあり、お手柔らかにと念を押しておく。暴れると思いますよとのこと。藤本からは私が以前パープレーで回った時に一緒だったと言われた。白ティーから打ってそんなこともあったかな、遙か昔、若かりし頃の話で今は見る影もありません。皆さんは白ティーから、私はチームの方針で10年前からゴールドティーで回っている。たまたまナイスショットが出て190ヤード。2打目は160ヤード登りを入れて175ヤード、4Uでナイスオンの筈だったが、かなりのトップでグリーンに「三浦とどかず」、ピン位置は左一番奥エッジ迄1ピン半、普段でも見ることの少ない所、25ヤードだが登りを入れて30ヤード近いと読んだ。ASで寄せるがオーバーするとすぐにグリーンからこぼれて裸の悪女のような逆目の深いラフ（裸婦）は絡みついて離れず、寄せはかなり難しい。女性特に裸婦に弱い私の寄せは1ピンショート、歩測でも5歩しっかり登りを打てば入る距離だが、フック読みすぎ入らず所謂OKのボギースタート。



亀岡 CC 10番ティーランドから見る丹波霧と雲海（大会当日ではありません）

11番ミドルホールは2オンできたがバーディーパット打ち切れず、またまた弱気のパットで、やっとこパー、それでもパーが取れたと喜んだが、次から3ホール続けさまにボギー、15番パー。16番は2回もホールインワンしてる得意のショートホールだったが、危うくOBになるミスショットでボギー。17番は2年前左肋骨骨折、左薬指骨折をした地獄谷のあるミドルホール、しかし緊揮一番パーを取った。最終ロングホールをパーで切り抜ければ5オーバー41で上がれる、後半しっかり回れば70台、悪くても81では上がれる。ティショットフェアウェイ真ん中、2打目は得意の5ウッドで出足ナイスショットの感じ、真っ直ぐ出たのにアゲインストの風、途中からボールは右へ右へ隣アウト1番との境の林の中へ、ピンまでは65ヤードで距離としてはASでのアプローチの距離だが、樹が近すぎて上へは打てない、下から行くにもこんもりした常緑樹の枝の葉が一杯で球が少しでも上がると当たってしまって抜けていかない。7番アイアンにて転がしを選択したが、焦ってダブってしまいグリーンに届かず5打でグリーンカラーへやっと到着、1パットで何とかボギーと欲張った結果、下りでマカマカマンマンと調子よく転がって、返しも入らず3パットでトリ、44点。21日の練習ラウンドではずっとパー、バーディー逃しのパーもあってアンダーパーとなってもいいようなラウンドだったのに。こういう団体戦で勝負が掛かっていると私のように気の弱いタイプは駄目になるんだねー。それでも当面の敵、松木と同スコアなので、責任としては「マーマー」中国のお母さんてなもんか。

昼食時のスコアチェック、丹羽も少し悪くて42、蘆田はアウトスタート38立派なもんだ、山添47えーッ、体調不良とのことだったがやっぱり駄目だったか。松木以外の右京は四方38、四方光48、河端博也47、ふーんそんなもんなら、まだまだ行けるデー。後半頑張ろう。と勇んで出たが、パーの堅い1番ロングホール3打目奥へ打ってしまって下りのフックライン打ち切れず、下りのパーパットを残していきなりボギー。2番パー、3番漸くバーディーでパープレーに戻したと思ったら、次またボギー。5、6とパー、次の7番ショートホールダボ、それでも3オーバー、8番ロングはパー、最終9番ティーショット、危うくOBのトップボールやっこさセーフで2オンは狙えないレイアップして残り60ヤードASで1ピン左にオン、入れば前半叩いても39なら格好付くかというところだったが、またまたの弱気、見事に「寸止めの松ちゃん」足らずにスライスして入らずボギー。44、40、84。目標70台、悪くとも81エージシュートの筈だったのに。しかし松木はほんとに調子悪かったようで50を打ってくれた。京都皮膚科医会会長職忙しくゴルフをしている時間がないと嘆いていた。こちらとしては大いに助かったけど。取り敢えず松木は抑えたぞ。うちのチーム他のメンバーのスコアは丹羽41で82、蘆田やや乱れたが以前の淫乱（インで乱れる）ほどには酷くない40立派なもんや78結構結構。山添後半かなり良くなって43しかし前半の失点響いて90。後に聞くと肺炎を発症していたという、1週間ほどはまともに動けなかったとのこと、欠席したのではチームとして成立しないので無理をしても来てくれたのだから、ほんとにご苦労さんでした。合計335。さて右京のスコア、四方は途中で会ったらOBを打ったという、その分悪くなって40、78、四方 光45、93、河端45、92。合計は362、なんだ30打近くも勝ってる、片目のケンケン楽勝の左京優勝じゃないか。バンザー

イ、ゆっくり風呂に浸かって会食会場へ行くと盛り上がってない、どうも違うらしい。

亀岡の佐藤俊之が78で回り、あとは船井の佐野達志82、佐野 求85、西田智樹86、亀岡・船井合同チーム合計331で左京は4点差で負けたそう。ショック！そんなところに伏兵が。佐藤俊之は亀岡カントリークラブの月例と一緒に回るグループの一員、今年度も月例で優勝して、グランドマンスリーの参加資格を早々とゲットしている伸び盛りの選手ではある。学生時代は野球部、飛距離は大谷翔平にはちょっと負ける(?)がとにかくよく飛ぶ。最近は難点のアプローチ、パットにも進歩があり、亀岡の登り龍。一緒に回った方はご存じだと思うが、前のホールでも後ろのホールでも、どこでも聞こえる大声で「止まれー！入れー！」とボールに無理やり言う事を聞かそうとし、また、ボールがよく彼の言うことをよく聞いてその通りになるのが不思議。また佐野親子はスタート前に話掛けていたようにいつもいいところへハマっていい賞品をかささらっていく。西田は本年の城陽カントリークラブの理事長杯チャンピオン、今年は調子が良いんだ。残念、私が18番でトリを打たず、9番でパーパットを入れてれば、年齢でも左京が勝っていたのに。申し訳ありません。左京Bチームで数年前から名前の挙がっている米田武史、柴田修宏、立石健人、児玉直俊が参加し、また右京との合同チームには松木正史、吉川拓宏が参加した。左京としては合計10名参加したわけである。やっと若手の先生方が参加してくれて、懇親を深めるようになってくれてうれしい限りである。また参加しているうちに慣れてきて好スコアが出て、若手での優勝も見えてくる。大いに楽しみにしている。

8. 一以貫之

そうすれば心置きなく私も引退できる。今でも最年長で出るのは大分しんどい。川柳に言う「老害と昔の名前紙一重」老害自民の轍踏むな。総裁選挙後に出てきた元首相も足元おぼつかず、言葉も何を言ってるのか意味不明、内科の友人はパーキンソンではないかとまで言う。また女性を入れると会議が長くなると言った人も。更には官房機密費でわけのわからない図書を数千万円購入し、「お前もその歳になるんだよ」と凄んだ末に引退し、息子を後継とすると。みんな老害だねー。私も言われないうちに消え去るのみと格好よく去りたいものです。などと言っていると昭和12年5月16日生まれ、御歳87の左京の団長廣崎彰良に何を馬鹿なこととお叱りを受けそうだ。長年続いたひーさん会遠征も本年度で最後にするとのこと言葉であったが、ゴルフはまだまだ続けるとの力強い宣言。まさに「一以貫之」お気の毒なほどのテーピングがあっても、というかあのテーピングがあってもこそ膝が流れずあの見事なドローボール、常々羨ましいと思っている。私も前回の左膝半月板裂傷は兎も角今回の右膝半月板損傷はこれでゴルフは諦めなくてはならないかと覚悟した。しかしまじめな精進の賜物、えっへっへっ、要するになーんも動かなかっただけなんだけど、どうやらまたゴルフができるようになった。ただやたら太って歩くのが難儀なので、この先何時までかわからないけど団長の爪の垢でも煎じて、「一以貫之」と行きたい。

今年は体調不良、不本位な成績だったがなんと言っても実績が違うクラチャン山添善博、

今年の府医ゴルフハンディ頭3.6鳴尾ゴルフ倶楽部シニアチャンピオン蘆田 潔、京都ゴルフ倶楽部グランドシニアチャンピオン丹羽 勇のトリオまだまだ元気。先述の廣崎彰良もいる。近江カントリー怪力男木戸 晉、琵琶湖カントリー倶楽部の紳士森 治彦、比良ゴルフ倶楽部チャンピオン兄玉博行、名門田辺カントリー倶楽部にてクラブチャンピオンを狙う赤木太郎、兄玉、赤木両氏は息子に任せたなんてことは言わずまだまだ現役頑張ってください。ダイエットしても飛ばし屋の兄嶋久剛、比良ゴルフ倶楽部で精進山際哲夫、毎週上賀茂コースにて奥様とラブラブのラウンド峯松壮平、琵琶湖カントリー倶楽部シングルの坂口佳司、飛距離は勿論アプローチでも非凡・時々暴れるのも愛嬌登り龍米田武史、左京医師会会長となりゴルフお休みも間もなく復帰の塩見聡史、ニアピン獲得しばしば、そろそろ飛躍柴田修宏、こそと京都ゴルフに現れる飛ばし屋立石健人、父君順ちゃんの代わり若々しいゴルフの吉川拓宏、上賀茂コースでスルーラウンド左京チーム入りに備える大久保秀夫、奥様とのラウンドばかりでなく左京チームにも入ってほしい上野光歩、京都ゴルフクラチャンのためのラウンドおさおさ怠りない川村ジュニアなどなど隠れてばかりの未来のシングルは一杯いる。左京の未来は極めて明るい。と最後は去年もほぼ同じ文で失礼しまーす。

来年こそ若手で優勝だ!?

(文中敬称略)

「一以貫之」：彬子女王：赤と青のガウン オックスフォード留学記、PHP 文庫より拝借

左京医師会 講演会等の予定

(令和6年11月)

開催日と場所は変更になる場合があります。
開催時間など詳細が決まりましたら医報などにて告知致します。

◆左京学術講演会

と き 11月16日(土) 14時30分

ところ 青蓮会館

「コモンな皮膚疾患の診断と治療」

京都府立医科大学 北部キャンパス長 加藤則人先生

追悼 故 越智京子先生

令和6年7月4日 ご逝去

越智京子先生追悼文

修学院第1班 八 田 一 郎

今年になって岡本定夫先生に続いて越智先生が鬼籍に入られ寂しいかぎりです。わたしたちは昭和50年から2年間に有馬弘毅会長のもと左京医師会の理事を務めました。越智先生は会計担当でした。岡村先生の追悼文でも記しましたが、退任後も有馬先生を慕って「アリマ」をもじって「マリア会」と命名し、忘年会や旅行など交流が盛んでした。越智先生は忘年会には楽しみにしておられいつも参加されていました。当番幹事でいっしょの時、わたしは酔っぱらうと勘定ができなくなり、越智先生がいつも助けてくださいました。

越智先生は昭和34年に東京女子医科大学を卒業の後、京大小児科に入局され、京都国立病院と県立尼崎病院の小児科に勤務され、この間ご主人の留学の関係だと思いますが、2年間渡米しておられます。そして、昭和44年に下賀茂で越智小児科医院を開院されました。ご主人は滋賀医大内分泌内科の甲状腺がご専門の幸男先生ですが、この方は学問一筋の方で世事に疎くそんな幸男先生をきめ細かく支えられ、ご主人のお父様と3人仲良く過ごされました。死語になったかもしれませんが、まさに貞女のような方でした。越智先生にはお子さまがありませんでしたが、その分診察場では子供さんたちに暖かく接し、また保健所の幼児健診に長い間携われ、まさに地域のお母さんでした。

趣味も豊富で若いころには楽器を嗜まれ、音楽には造詣が深く、少女時代からずっとモーツァルトに傾倒され、モーツァルトの生家のザルツブルクやウィーンを訪ねられました。お忙しいなか家庭園芸にも精を出され花をめでておられました。若いときから書道にも励まれ、左京医報の新年号の表紙を気品ある書で飾ってくださいました。今年の京都府医師会主催医芸展にも出展しておられ、会場でお声をかけていただいたのが最後になりました。この度訃報に接し驚きました。寂しくなりました。

越智京子先生長い間ほんとうにお世話になりました。どうぞ豊かなご趣味を今こそ気兼ねなく十分にお楽しみください。本当にありがとうございました。



「疏水の水音でフィナーレを迎えた幕末維新の京都交響曲」

第十三話 「京都帝国大学に続いて立命館大学が開設され

学生の街・京都となった」(その2)

北白川 2 班 山 下 敬 司

【中川小十郎が創設した立命館大学は勤労学生のための夜間部からスタートした】

実業界で実績を積んだ小十郎は、明治32年（1899年）に働く人達のための上級学校である京都法政学校（後の立命館大学）の創立へ動き、広岡浅子から5,000円（現在の2,000万円）の無担保融資を、住友友純（西園寺公望の実弟）からは大口寄附を、また設立賛助員として京都政財界の内貴甚三郎、浜岡光哲、田中源太郎、中村栄助、雨森菊太郎、高本文平（このメンバーの殆どは同志社大学設立構想の賛助者であった）らの力を借りました。

働く人達のための上級学校である京都法政学校は、昼間に仕事をしている人達が夜に学べるようにと夜間部からスタートしました。大学で必要なのは優秀な教授陣であり、小十郎は恩師で京都帝国大学初代総長だった木下広次に京都法政学校への協力を依頼しました。木下はその構想に大いに賛同し、設立後は京都帝国大学から夜間に講師を派遣するなど、その運営に全面的に協力しました。

明治33年（1900年）に京都法政学校は正式に創立され、初代校長には京都府出身で民法起草者の一人である東京帝国大学教授の富井政章が就任し、小十郎は総長となりました（図92）。京都法政学校の設立から5年後に、小十郎は西園寺公望が明治2年（1869年）に京都御所内の私邸に開設した私塾「立命館」の名の継承を申し出てこれを許され、名を立命館と改めました。

なお京都法政学校の創立の際の京都府への届け出書には「将来は法政だけでなく文学、医学の二科を増設し、中学教員および医師を養成して、わが国教育の一大欠点を補充する機関にしたい」と書かれているようで、立命館にも医学部ができる可能性があったそうです。



図92：中川小十郎の肖像（左側）（亀岡市馬路町自治会のホームページから引用）と昭和30年〔1955年〕当時の立命館大学広小路学舎の正門（右側）（立命館大学のホームページから引用）。広小路学舎は発足の2年目から昭和

56年（1981年）まで河原町通りを挟んで府立医科大学の西側にあったが、その後は衣笠校舎に一本化され、その跡地は京都府へ売却され、京都府立医科大学の敷地の一部となっている。

立命館（京都法政学校）では就業者が通学可能な夕方から夜間に講義が行われ、講義録が刊行され地方在住であっても講義が受けられる仕組み（現在の通信教育に近い）が整えられました。立命館の「夜間学校」の伝統は、その後100年以上も続いていきます。創立当初の校舎は鴨川西岸の清輝楼にありましたが、まもなく御所の東の広小路学舎へ移転しました（図92）。

立命館の主たる科目は民法や商法などの実用法学で、教授したのは小十郎の考えに共鳴した京都帝国大学の教師陣であり、京都帝国大学に劣らないハイレベルの講義が、日が落ちて暗くなった頃から毎日学舎で展開されました。ちなみに京都帝国大学法科の教授陣が1時間2円の安い報酬で講義をしてくれたそうで、京都帝大の先生達は日が暮れると荒神橋を渡って広小路学舎へ毎夜講義に来てくれたそうです。

【小十郎は滝川事件で京都帝大法学部を追われた教授陣を立命館へ迎えた】

立命館の夜学の講師を京都帝国大学の教師陣が引き受けるなど立命館と京都帝国大学との縁は創立当初から深く、さらに明治36年（1903年）には小十郎が恩師の京都帝国大学初代総長の木下広次に請われて京都帝国大学事務局長に一時復帰しています。

そして小十郎は、昭和8年（1933年）に京都帝国大学でおきた滝川事件（滝川法学部教授が行った講演が左傾的であるとして政府から弾圧された事件）で京都帝国大学を追われたり辞職した教授8名、助教授5名、講師8名の中から17名を立命館へ招聘し、滝川前教授も特別講師を務めるなどしました。

滝川事件が京都帝国大学へ落とした影が大きかった一方で、事件後に立命館の陣容は格段にアップしてその後の立命館の発展に寄与しました。さらに太平洋戦争後に連合国軍総司令部（GHQ）から立命館が睨まれた際に、滝川事件で京都帝国大学を追われて立命館へ来た末川 博を総長に据えて切り抜けたそうです。

滝川教授は太平洋戦争後にGHQの指示で京都大学へ復帰して法学部長となりますが、滝川事件で法学部を去らずに大学に残っていた人々との間の溝が拡大し、彼らの多くは大

学を去ることとなるという揺り戻しが起こり、その時にも多くの人材が流出しています。

滝川事件は政府の言論弾圧が共産主義から自由主義にまで及ぶきっかけとなったエポックメイキング的な事件で、京都大学をはじめとする大学への政府の思想統制の象徴的事件であるという見地から滝川事件とは呼ばずに京大事件と呼称すべきと考える人々も多く、呼称はいまなお確定していません。

【立命館は手狭となった由緒ある広小路学舎から衣笠キャンパスへ移転した】

立命館の発展と共に敷地が約6,500坪の広小路学舎では手狭となり、北区衣笠にキャンパスが設けられます。昭和40年（1965年）に経済学部と経営学部が広小路学舎から衣笠キャンパスへ移転したのを皮切りに、衣笠キャンパスへの移転が進んでいきます。

そして昭和56年（1981年）の法学部の衣笠移転を最後として立命館は広小路学舎から完全に衣笠キャンパスへ移りました。その後に広小路学舎は京都府へ売却され、現在は京都府立医科大学関係の施設が建ち、その一角に立命館広小路学舎のあったことを記念する石碑が建っています。筆者が京都の大学で学ぶこととなった昭和57年（1982年）にはまだ広小路学舎は残っており、広小路学舎の前で「かつて叔父がここで学んでいたのだなぁ」と感慨を受けた記憶があります。

【満州事変の首謀者・石原莞爾が陸軍退役後に立命館で国防学講座を主宰した】

立命館の異色な教授陣としては、昭和16年（1941年）に中川小十郎が主導して新設した国防学講座を主宰した満州事変の首謀者であった石原莞爾がいます。小十郎は東条英機と対立して陸軍を退役した莞爾を立命館へ迎え入れ、莞爾は国防学研究所の所長となるとともに学生達へ講義を行いました（図93）。



図93：石原莞爾の昭和9年（1934年）当時の肖像（左側、毎日新聞社「一億人の昭和史 1930年」に収載、ウィキペディアから）と退役後の肖像（中央、石原莞爾研究 第1集、精華会中央事務所から昭和25年〔1950年〕に刊行、国立国会図書館デジタルアーカイブから）と寺町今出川上ル桜木町

の中川小十郎邸（右側、筆者撮影）。莞爾は満州事変の首謀者であったが、日中戦争のきっかけとなった盧溝橋事件の際にその拡大に強硬に反対した事と、東条英機を強く批判していたことから戦犯とはならなかった。しかし、完爾が司令官でないにもかかわらず満州事変を主導して成功させ爾後に陸軍上層部と政府から追認されたことは日本陸軍の悪しき前例となり、太平洋戦争への伏線となった。昭和11年（1936年）の二・二六事件では参謀本部作戦課長（当時は大佐）だった完爾は反乱を起こした青年将校らを支持せず鎮圧に動いたとされているが、その翌年に国際協調派の宇垣一成陸軍大将の組閣を陸軍から陸軍大臣を出させないように工作して妨害した（陸海軍大臣現役武官制のため陸海軍から大臣が出ないと内閣は倒れた）のは完爾であり、後に生涯の禍根であったと述べている。莞爾は東条とは犬猿の仲で、太平洋戦争開戦前の昭和16年（1941年）3月に退役して予備役編入となった（最終階級は陸軍中將）。その後は莞爾は評論・執筆・講演に勤しみ、中川小十郎の依頼を受けて立命館大学の国防学講座を引き受け、学生たちへ国防論を教授した。莞爾は広小路学舎から程近くにあった小十郎邸へ時折立ち寄り、国防論を論じながら二人で酒を酌み交わしたのではないだろうか。その後まもなく東条の差し金で莞爾は立命館を去らねばならなくなり、郷里の山形県鶴岡市で隠遁した。敗戦後に莞爾は連合軍総司令部（GHQ）から尋問されるが、完爾は「東条英機には思想がない」と東条を批評したと言われる。完爾は「東条には思想はなく憲兵隊を使って国政を動かしたに過ぎない」と言いたかったのではないだろうか。莞爾と東条の違いを一言で言うならば、莞爾は軍事作戦の天才で、東条は組織構築の秀才だった。軍事作戦の天才の莞爾が太平洋戦争の作戦指導にかかわることがなかったことは少なからず戦況に影響したと筆者は考えている。

その創設にあたって小十郎は、「国防が軍人の専任であるというのが如き旧時代の観念を清算して、国民が国防に関する正確なる知識を把握することは、刻下の最大急務である」とその意義を語っています。軍国主義路線を突っ走る東条の向こうを張る小十郎の真骨頂発揮ですね。

莞爾は講義に使うために「国防論」を執筆しましたが、立命館から発行される寸前に検閲により発禁処分となりました。「国防論」の大半は世に出ずに滅失しましたが、一部が残存しており、立命館大学で復刻されているそうです。

満州事変の首謀者で瞬く間に成功させた莞爾は、昭和11年（1936年）の二・二六事件の際には陸軍参謀本部作戦課長でしたが、これを痛烈に批判して鎮圧しています。その翌年の昭和12年（1937年）に盧溝橋事件から日中戦争が勃発した際には、その泥沼化を予見して、その拡大に一貫して反対しています。そのため日中戦争を拡大して戦果を得ようとする陸軍主流派と対立して、次第に陸軍内で孤立していきました。当時の陸軍幹部は戦果を拡大して自分の立身出世を図ろうとし、泥沼化して戦死者が増加してからは引くに引けなくなり、日中戦争は結局日本が太平洋戦争で負けるまで続きました。莞爾は東条英機と馬が合わず、様々な場面で対立してきましたが、東条が陸軍トップに立つと、日米開戦前夜の昭和16年（1941年）3月に陸軍を退役して予備役となりました。

小十郎はそんな莞爾を講師として迎えることで、対米戦争への道をひた走る東条を間接的に批判しようとしたのかもしれませんが。しかし、東条の指示で、立命館が日常的に憲兵や特高警察から監視されるようになったため、莞爾はまもなく立命館を去り、郷里の山形県鶴岡市に居を移して隠遁生活を送りました。

なお、莞爾は太平洋戦争に際しても一貫して開戦や戦線拡大を批判しており、「油が欲

しいからとて戦争を始める奴があるか」と言ったそうです。また莞爾は、「(独ソ戦で快進撃を続けるドイツ軍は) 地形が西部とは全く異なる東部戦線で、成功した西部戦線と同じ作戦を展開しており、いずれドイツ軍は敗北する」と語っていたそうで、結果は莞爾の予見通りになりました。軍事の天才・石原莞爾が陸軍の参謀総長だったならば、結果は違うものだったかもしれませんね。

余談ですが、筆者の叔父は立命館大学出身で、卒業後に南満州鉄道の系列の満州電線の社員となり満州へ渡りました。しかし日本が戦争に敗れソ連軍が満州に進駐して満州で抑留された時に、陸軍への応召時に罹患した肋膜炎が再発し満州で死去しています(陸軍記録上は戦病死)。叔父が莞爾の講義を受けたかは定かではありませんが、その可能性は十分にあると思われ、その影響で満州へ渡ったのではと筆者は考えています。なお叔父が今も存命なら100歳くらいです。

【同志社大学、京都帝国大学、立命館大学が開学し、京都は学生の街へと向かう】

現在の京都には沢山の大学があり、多くの学生が学ぶ学生の街となっていますが、明治時代の同志社大学、京都帝国大学に引き続く立命館大学の開学がその方向性を決定づけたことは論を俟たないでしょう。

新島 襄と山本覚馬の同志社英学校設立への熱意と、同志社大学設立運動への京都の政財界の理解と協力(彼らは後に立命館大学の創立にも協力した)と、北垣国道の第三高等中学校の大阪から京都への移転にかけた熱意と、西園寺公望の京都帝国大学創立への熱意と中川小十郎の立命館大学設立への熱意があったからこそこの学生の街・京都であることを私達は忘れてはならないでしょう。

次の項目では、京都の医学界において明治初期から重要な役割を果たしてきた療病院(現在の京都府立医科大学)の歴史も振り返っておきたいと思います。

【明石博高と京都仏教界や町衆の尽力で発足した療病院が京都府立医科大学へ発展】

療病院は、京都府勸業課長で医師でもある明石博高と、廃仏毀釈の逆風の中で社会事業に活路を見出そうとしていた岡崎願成寺住職・与謝野礼厳、禅林寺(永観堂)前住職・東山天華、慈照寺(銀閣)住職・佐々間雲巖、鹿苑寺(金閣)住職・伊藤貫宗らの僧侶達が発起人となり、仏教寺院や一般府民の寄付、府内の医師や薬舗からの賛助金、花街に課した冥加金等により集まった5万円の資金により、明治5年(1872年)に木屋町二条に設立され、京都府立医科大学の前身となりました。療病院の名称は聖徳太子が悲田院、施薬院、療病院の三院を創設された故事にならって命名されています。

覚馬の友人のプロシア商人のレーマンの紹介で来日したドイツ人医師・ヨンケルが初代外国人医師として明治5年9月(1872年10月)から木屋町二条の仮療病院で診療を開始し、翌々月より東山の青蓮院内の仮療病院へ移転しました(図94)。その後、二代目のオラン

ダ人医師マンスヘルトと三代目のドイツ人医師ショイベが着任し、療病院に近代医学を導入し、病院の発展と医学教育に多大なる貢献をしました。



図94：東山・青蓮院内にある療病院跡の石碑。医師・明石博高らにより、明治5年（1872年）に木屋町に療病院が創設され、ドイツ人医師のヨンケルが木屋町二条の療病院へ着任し診療を始め、まもなく療病院は木屋町二条から東山にある青蓮院へ移転し、京都府立医科大学の前身となった。

【京都府立医大は二度の存亡の危機を乗り越えて発展し現在に至っている】

明治12年（1879年）には療病院に医学校も併設され、明治13年（1880年）には上京区河原町通広小路ル梶井町（現在の京都府立医科大学の場所）へ移転しています。その頃のことだと思いますが、北垣国道の知事在職中に、京都療病院に併設された医学校（府立医大の前身）の予算を京都府議会が否決し、医学校が閉鎖される危機に瀕した時、国道は明治政府の了解を取り付け、知事権限で予算を縮小して執行し、医学校を廃止の危機から救っています。

そして、明治32年（1899年）に京都帝国医科大学（現在の京都大学医学部）が設立されると人材が流出し運営に行き詰まったことから、京都府は明治33年（1900年）12月に京都府会に医学校廃止案を提出しますが、府会は1票差でこれを否決し、医学校を廃止の危機から救っています。

以上の二度に渡る存亡の危機を乗り越え、その後に第五代校長・島村俊一が医学校の改築や様々な改革を実施して優秀な人材を集め、京都府立医科大学へと繋がる基礎を固めています。度重なる危機を乗り越えたことが、その後の発展に大きなバネとして働いたのではと筆者は想像しています。そして医学校は、明治36年（1903年）に専門学校令により医学専門学校となり、さらに大正10年（1921年）に大学令により京都府立医科大学となると共に予科（予科は旧制大学への進学コースで予科を卒業した学生は府立医科大学以外の大学へ進学した）を併設します。そして昭和27年（1952年）の学制改革で新制大学（京都府立医科大学）となり現在に至っています（図95）。

多くの大学医学部や医科大学が、初めに大学（医学校）ありきで、その後に病院が併設されているのに対して、京都府立医科大学は初めに病院（療病院）ありきで、その後に病院に併設される形で医学校ができたという、通常とは逆の特異的な歴史をもっています。そして、それが地域医療の向上に長年取り組んできた京都府立医科大学の原点であると言っても過言ではないでしょう。なお、京都府立医科大学の原点は明石博高が創立にかか

わった療病院だったことを、本稿の執筆をしたことにより筆者は初めて知りました。



図95：現在の京都府立医科大学・同附属病院（左側）と昭和4年（1929年）に建築されたレトロ感溢れる旧図書館とその前にある療病院碑（右側）。旧図書館は取り壊されることになっていたが、そこで学んだOBから保存を求め

る声が高まり、耐震工事をした上で保存されることとなった。旧図書館は現在は普段は部活動や大学生協が使っており、市民公開講座が行われたり、医療博物館としても使われている。

【京都の3番目の大学医学部となる筈だった同志社大学医学部構想とその挫折】

ここからは幻と終わった同志社大学医学部のお話です。皆さんは、新島 襄が京都帝国大学ができる10年以上前に、同志社大学医学部を創設すべく着々と準備を整えていたことをご存じでしょうか。

新島 襄は、学校創立を志した当初から、文学部、神学部、法学部、経済学部、医学部などの諸学部を擁する総合大学を目指していたそうです。その動きの中で最も早く動き出したのが同志社大学医学部構想で、アメリカン・ボードの援助と協力の下に明治20年（1887年）に医学部設置の前段階として、同志社病院と京都看病婦学校が烏丸長者町南角（御所の蛤御門の烏丸通の筋向かいで現在はKBS京都の社屋）に開設されました（図96）（図97）。

京都看病婦学校は日本で二番目に開校した看護学校で、医学部設置の前に病院と看護学校を軌道に乗せて医療体制を盤石にする、というやり方は当時としては画期的であり、療病院と京都医学校（後の京都府立医科大学）の創立時と共通しています。



図96：御所の蛤御門の烏丸通を挟んだ筋向かいにあるKBS京都の本社社屋で、ここには明治20年（1887年）に同志社大学医学部設置の前段階として同志社病院が開設された。しかし、襄の死によりアメリカン・ボードとの関係が崩れ資金が得られなくなったため運営に行き詰まり、明治30年（1897年）に同志社病院は廃止された。



図97：同志社病院と同時に設立された京都看病婦学校とその関係者の写真で、上段左端から順に新島 襄、J.C.ベリー、中村栄助、L.リチャーズ（京都看病婦学校五十年史、京都看病婦学校同窓会から昭和11年[1936年]に刊行、国立国会図書館デジタルアーカイブから）。看護学校としては日本で二番目の創設で、アメリカン・ボードはナイチンゲールのもとで直接近代看護を学んだL.リチャーズを指導者として送り込み、他に先駆けて訪問看護の指導をした。しかし、新島襄の急逝により同志社の経営が揺らぎ、明治30年（1897年）に同志社病院が廃止され、京都看病婦学校も明治39年（1906年）に同志社の経営から離れることとなった。

アメリカン・ボードは同志社病院へは院長として医療宣教師（医師）の J.C. ベリーを送り込み、京都看病婦学校へは京都看病婦学校副校長（校長は新島 襄）として看護宣教師（アメリカで最初の有資格看護師）の L. リチャーズを送りこみ、それぞれ順調なスタートを切ります。アメリカン・ボードからの資金に加えて、中村栄助、北垣国道、田中源太郎、濱岡光哲、高本文平など京都府の政財界や市民からも寄付を集めていたことが、京都看病婦学校五十年史に記録されています。

しかし新島 襄が明治23年（1890年）1月に死去すると同志社とアメリカン・ボードとの関係が次第に上手くいけなくなり、資金が拠出されなくなってしまいます。そのため明治30年（1897年）にまず同志社病院が閉鎖され、明治39年（1906年）に京都看病婦学校がキリスト教徒で医師の佐伯理一郎に譲渡され、同志社は医学部構想から撤退することとなりました。

同志社を離れた京都看病婦学校は佐伯理一郎の下で運営され、看護師734名、理学療法士120名、助産師2,120名を輩出しますが、太平洋戦争後に看護教育の新制度が施行された際に廃校となりました。そして時が移り平成27年（2015年）に同志社女子大学看護学部が新設されますが、両者の間には組織としての連続性はないものの、同校では「京都看病婦学校の志と伝統を受け継ぐ」ものと位置付けています。

【同志社を資金と人材で支えたアメリカン・ボードとは？】

アメリカン・ボード（別称：アメリカ伝道評議会）は、文政3年（1810年）に創立された会衆派を中心とする諸宗派が加わった超教派的なキリスト教外国伝道組織で、昭和36年（1961年）に会衆派と福音改革派が合同して United Church Board へ名称が変更されました。

同志社大学神学部教授の本井康博さんが書かれた記事によると、アメリカン・ボードは

日本へ明治2年（1869年）に進出し、昭和36年（1961年）までに日本へ400人近い宣教師を送り込んでいます。そのうちの2割近くが京都へ派遣されて同志社を拠点として活動し、新島 襄もその宣教師のひとりで、襄の給料はアメリカン・ボードから支払われていました。

襄の庇護者だったのはボストン在住の S.H. ハーディーで、アメリカン・ボードを代表する存在でした。襄はハーディーの申し子として日本へ送り込まれた宣教師でもあったことから、アメリカン・ボードは襄と同志社へ全面的に協力しました。

アメリカン・ボードとハーディーの同志社への協力は、同志社の創立者でボードの宣教師でもあった襄への助力に他ならず、襄の死後にその後継者となった人たちとボードとの関係性が上手くいかなかったのは、同志社と襄が一体かつ不可分なものとしてボードに認識されていたことを物語っています。

【同志社大学医学部は左京区聖護院の左京税務署付近に開設される予定だった】

このお話は次回でさせていただきますので、またお読みくださいね。

（第十三話・その3へ続く）



七 仏 七 界

西国四十九薬師霊場巡りの旅 その四 後編

「 瑠 界 」

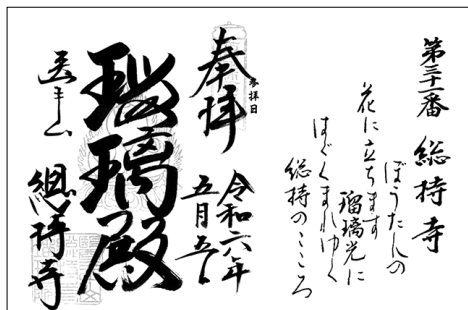
上高野班 松 下 匡 孝

2024年5月5日

娘が大阪へバイトに行くために朝5時過ぎに家を出るらしく、妻は朝ご飯を作るためにその前に起きている。それに便乗するわけではないが、妻に感謝を忘れず朝6時50分に家を出していただいた。JR 山科駅から琵琶湖線快速米原行に乗車し、米原駅で北陸本線に乗り換えて長浜駅に到着したのは8時40分だった。結構時間が掛かる。

第三十一番札所 真言宗 豊山派 総持寺

総持寺までは長浜駅からまっすぐ東方向へ向かえば良い。今日は暑くなりそうだが、朝9時の日差しはまだ強くない。約2kmを25分ほど掛けてのんびり歩いて行く。大きく立派な長浜西中学校を通り過ぎ、国道8号線を横断するとすぐに総持寺に着いた。仁王門で一礼し靴を脱いで本堂に上がる。閉まっている扉を少し開けてみると畳が敷かれている広間だが、勝手に中に入って良いか解らなかったので、扉を開けたまま外で読経礼拝を行ったのち納経所で御宝印をいただく。牡丹や芍薬の花が有名ならしいのだが、気づかずにお寺を後にしてしまった。

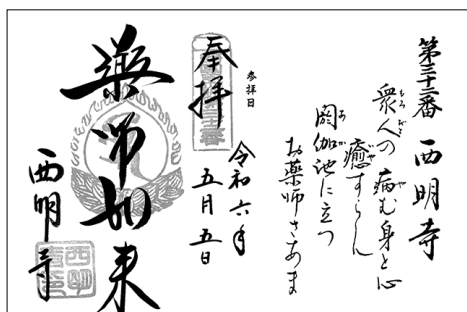


10時4分発の新快速に乗る予定なので、来た道を少し急ぐ。次の西明寺の最寄り駅は近江鉄道豊郷駅で、豊郷駅からさらに6kmほど山手にあるのだ。米原駅で近江鉄道に乗り換える。米原駅から豊郷駅までは760円だが、今日最後にお参りする桑實寺くわのみでらの最寄り駅であるJR安土駅へ行くために、近江八幡駅までさらに760円必要なので金、土、日曜祝日に販売されている900円の乗り放題切符を買っておいた方がお得だ。豊郷駅から西明寺までは歩くと片道1時間30分もかかってしまうので、今回は豊郷町観光案内所で3.5時間300

円の料金をレンタルサイクルを利用することにしている。豊郷駅では降りる乗客が多かった。以前京都の叡山電鉄がラッピング電車を走らせていたアニメの聖地が豊郷小学校旧庁舎群らしい。その敷地内に観光案内所があり、持参したマイナンバーカードを見せて自転車を借りる。スポーツタイプに丸を付けたつもりだったが、用意されたのはママチャリ。一応リアのみ変速3段付きだからスポーツタイプ？。スマホのナビゲーションを起動し、前かごに背負ってきたリュックを乗せてのんびり走り出す。エエ感じだ。ただ山手に向かうのでじわじわと上っていくし、周りが田んぼなので向かい風が強く、“エエ感じ”だったのは初めの5分ぐらい。6 km を約30分かかって、12時に西明寺惣門に到着した。

第三十二番札所 天台宗 湖東三山 龍應山 西明寺

駐車場は広いが車は少ない。閉まっている料金所の裏に自転車を止める。惣門前で一札し惣門をくぐると長い石段が続き、上り疲れた頃やっと受付に着いた。入山料500円と納経料300円を払う。参拝順路通りに行くと蓬萊庭という庭園を見学していくのだが、道も狭く勾配もあり健脚の方でないとこの庭園は見学できないだろう。二天門をくぐった先の本堂に入る。本尊の薬師如来立像は秘仏だそうで、扉が閉まっていて拝見することはできない。正面に座り礼拝を始めようとしたが、なんと持参した線香は使ってはいけないようで、置いてある線香を3本60円で購入する。読経が終わり、内陣を見渡すと十二神将立像、日光、月光菩薩立像が祀られていた。本堂を辞し受付で御宝印をいただいた。

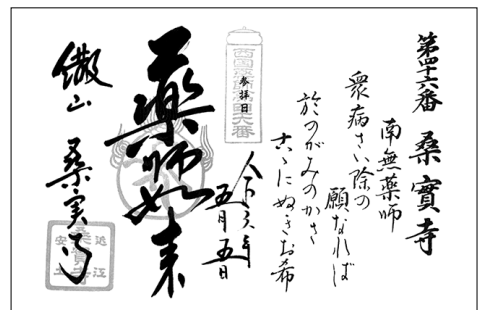


長い参道は降りるのも気を遣うから疲れる。観光案内所までの帰り道は下りだから“エエ感じ”で景色を充分楽しむことができ、13時に自転車を返却した。豊郷駅まで歩く道すがら「さて昼食はどこで食べようか？」と考えていると、「国道8号線沿いなら食べるところはいくらでもあるだろう。時間もあるし、五箇荘駅から歩いて行くか？」と思い始める。この選択はのちのち後悔することになるのだが…。せこい話だが、五箇荘駅まで310円だから乗り放題切符でも元は取れる。1時間に1本しかないのに13時11分発の近江鉄道本線に乗車できた。20分に五箇荘駅に到着し、国道8号線を南下する。1.7km 歩いたところでラーメン屋を見つけ、塩ラーメン、チャーハンをいただいた。ラーメン専門店は食べ方とか作法に色々うるさいと聞いているので近寄りたかったのだが、店員さんの接遇もかなり良い感じ。満腹状態になり、ご機嫌さんで店を出る。ご想像通り、歩くことはついさっき思い付きで決めたから桑實寺までどれくらい歩くことになるのか調べていない。歩きながらスマホで徒歩ルートを検索すると、桑實寺まで約7 km もあるみたいだ！7 kmということは約2時間近くかかると思っていなければならない。いまさらこの無計画さを悔やんでも仕方がない。幸い暑くはないのでのんびり歩いて行くしかないのだが、「バス

はないだろうか？」などと思い考えてしまう。県道202号線を北西へ歩いて行く。観音寺山の北側を回るルートになる様だ。観音霊場巡りのときに観音正寺に来たが、あのときは能登川駅からバスに乗ったよな。途中コンビニでトイレ休憩と水分補給。道はまっすぐだから迷うことはないが、全長1.1kmのきぬがさ山トンネルは車の走行音が反響してうるさかった。トンネルを抜け彦根道を歩く。信長の館前を通過した辺りで左に曲がるはずなのだが、案内看板は皆無でスマホのマップを信じて左折し、急勾配の坂を上っていくが案内看板は見当たらず、ウロウロしていると人家の庭に入りそうになった。「この辺りに山門があるはずなんだが…。」坂を上ったり下ったりしながらようやく参道を発見した。

第四十六番札所 天台宗 ^{きぬがさやま} 織山 桑實寺

この参道が絶望的な傾斜の坂で、しかも足場の悪い石段。7km近くを歩いてきたあとにこの石段はかなりキツイ。途中にある地藏堂前の休憩所にあるベンチに倒れ込む。息が上がる。足がつりそうになりながら、息も絶え絶えに石段650段を上りきった。ラーメン屋を出て約1時間40分かかったが、15時24分、桑實寺山門に到着。受付で「ひとり？」と聞かれるが、



「ちょっと待って下さい。」。受付横のベンチに座り込んで息を整え、入山料300円を払う。南北朝時代に建立された本堂に入ることができ、持参の線香を灯し読経礼拝を行う。受付で御宝印を頂戴し寺を後にするが、今度は650段を降りるのだ。上りよりは楽だが膝への負担が大きい。石段を下り終えても、さらに JR 安土駅まで2km歩いて行かなければならない。バス停を見つけたが休日にはバスは走っていないようだった。

脛の痛みに耐えながら16時20分、JR 安土駅に到着し、51分発の快速に乗車した。ところが京都駅ホームで不審物が見つかったとかで草津駅で止まってしまう。眠たくなって寝てしまったが、目覚めても電車は動いておらず、80分遅れでようやく運転再開。家に帰着いたのは19時30分だった。

考えに考えた計画を思いつきで変更するのはやめよう…。

その伍前編に続く

編集後記

秋の学会シーズンです。国立京都国際会館での学会に参加される他地域の先生方に「ここで地区医師会の会合もしているんですよ」というと、皆様驚いて羨ましがられます。私の功績ではないのに、なんだか誇らしい気分になります。確かに、狐坂を上がりトンネルを抜けて国際会議場に向かうと、はためく旗と会議場、そして思ったより近くに凛と現れる比叡山は、一幅の絵です。

そんな身近な国際会議場、実は1966（昭和41年）の開館、そんなに昔のことではないですね。建築を見守られた先輩の先生方もおられるでしょう。以来、数々の重要な会議が開催されています。なかでも私の心に残るのは1997年（平成9年）に採択された通称「京都議定書」です。あのときは、これで地球温暖化に歯止めがかかる、きっかけとして「Kyoto Protocol」が世界の人々の記憶に残るなら素晴らしいことだ、と期待したものでしたが、なかなかそう簡単にはいきません。今年もあちこちで地球の悲鳴が聞こえています。

さあ、どうしたものか、ひとまず私は、こうこうと電気をつけたまま寝落ちするのをやめよう（一体幾晩続いている?!）。小さなことから始める、秋の夜長です。

医報担当 兵庫美砂子

ホームページコーナー

URL <https://www.sakyo.kyoto.med.or.jp>

左京医師会では、ホームページを開設しております。皆様のアクセスをお待ちしております。また会員メーリングリストの運営を行っていますので、参加ご希望の方は医師会事務所までご連絡ください。

情報広報委員会

左京医報投稿のお願い

原稿締切 毎月 15 日
発行 翌月初旬(合併号はこの限りではありません)
内容 随筆・感想文・旅行記などを募集しております。また、表紙に絵画・書・写真などを左京医報へ掲載していただける先生がおられましたら、お気軽に事務所か兵庫美砂子までご連絡をお願いします。

左京医報 2024 年 11 月号(703 号)

発行日 2024 年（令和 6 年）11 月 1 日
発行所 一般社団法人 左 京 医 師 会
京都市左京区岩倉大鷲町422番地
電 話 (075) 701-1500
FAX (075) 701-1751
E-mail info@sakyo.kyoto.med.or.jp

発行人 塩 見 聡 史
編集人 兵 庫 美 砂 子
印刷所 (株)こだま印刷所
電 話 (075) 841-0052
FAX (075) 811-7873
E-mail mail@kodamap.co.jp